



かけはし

平成28年度 新年祈願祭・伝統の寒稽古完遂！

剛 魂 健 を誓う！



— 新年祈願祭 —

1月10日、解脱会御霊地の天神地祇太神社殿に於て、先生方をはじめ少年部から一般部門下生並びに保護者が参加のもと、平成28年度の新年祈願祭が執り行われました。厳粛な式典に自らの心を引き締め、一年の武運長久と明日からの寒稽古完遂を祈願、震える寒さをこらえ道場訓を声高らかに奉唱し、皆で決意を新たに一年の精進を誓いました。その後、道場に戻り初振りを行い、館長先生から今年一年への大切な心構えのお言葉を賜り、身も心も引き締まった平成28年の幕開けと成りました。

本年も日本一の道場を目指し皆様と共に精進し、実りある一年になるように頑張りましょう！！

— 寒稽古 —

1月11日から三週間に亘り、門下生をはじめ市内3中学、更には上尾高校・伊奈学園総合高校・岩槻北陵高校等の部員も参加しての恒例の寒稽古が実施されました。今年は、エルニーニョ現象の影響で暖冬と言われておりましたが途中大雪となり大変な一日もあり、まさに「眠い・寒い・辛い」毎日と向き合い、そして負けない精神力を養った三週間の寒行となりました。

稽古は、例年通りの徹底した基本稽古で鍛えられ、門下生は剛魂健(ごうけんだまい)を指針にして苦しさから逃げずに努力を重ね、剛い心と健康な体を養い、最後まで全身全霊魂を込めてやり貫きました。これも多くの先生、先輩方に連日、元立ってご指導を頂いたお陰様であり、心身の錬磨と技術向上は勿論の事、参加者一同は怪我や事故もなく無事完遂することが出来ました。門下生諸君には、自分一人の力だけではなく家族や先生方、多くの人々の支えがあり完遂出来た事を銘記して感謝の気持ちを忘れず、今年一年の通常稽古にそして生活に役立て活かして欲しいと願います。



行事予定

《3月》

○ 館の行事

- 5日(土) ※現在新規入門生(第48期生)受付中 10時~17時(月曜日休館)
剣道体験教室(13時30分~14時30分)
13日(日) 創立44周年記念館内大会(全門下生とその家族)
8時半集合、9時開会~16時閉会
第一部・記念式典、第二部・学年別優勝試合、第三部・卒業生壮行交流会
20日(日) 剣道体験教室(13時30分~14時30分)

○ 大会・審査会

- 3日(木) 埼玉連月例稽古会(上尾)
6日(日) 埼玉県少年剣道指導者講習会(一般・上尾)
12日(土) 六段・七段受審者講習会(一般・上尾)
13日(日) 段位審査会(四、五段・上尾)
27日(日) 第57回全国選抜少年剣道錬成大会(小学生代表・水戸)

※稽古活動休み=一般部3月12日(土)・3月31日(木)
少年部3月29日(火)~4月1日(金)まで春休み
木刀教室3月29日(火)・3月31日(木)
ママ剣3月30日(水)・4月1日(金)

一般部有志稽古
3月29日(火)・30日(水) 20時~21時

《4月》

○ 館の行事

- 13日(水) 第48期生・稽古開始(初心者クラス16時~)
17日(日) 後援会通常総会(11時~・対象・正会員)親睦会(対象・少年部保護者)
※稽古活動休み= 4月1日(金)・2日(土)

○ 大会・審査会

- 7日(木) 埼玉連月例稽古会(上尾)
7日(木) 女子剣道講習会(上尾)
10日(日) 第29回全国健康福祉祭剣道交流大会予選会(午前・上尾)
10日(日) 第8回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会予選会(午後・上尾)
16日(土) 剣道伝達講習会(上尾)
24日(日) 地区講習会(一般・朝霞)
29日(金・祝) 第64回全日本都道府県対抗剣道優勝大会(大阪)
29日(金・祝) 第58回埼玉県下武道大会(秩父)
29日(金・祝) 六段審査会(京都)
30日(土) 七段審査会(京都)

○ 受入行事

- 23日(土) 北本市剣道連盟総会(北剣連)



☆寒稽古スナップ特集 (写っていない門下生ごめんね！)



おはようございます～
皆勤まであと・・・



寒さに負けずに気合だ！



正しく構え① 構えを大切に！



正しく構え② 確認よし！



心を落ち着かせ黙想



沢山の元立ちの先生方 さ～あ！稽古開始



切り返し①
気合を入れて・や～！



切り返し② 正しく強く



打ち込み稽古①正しく正確に！



打ち込み稽古②
大きくメン！



打ち込み稽古③
先生方の気迫に負けないぞ！



打ち込み稽古④ よーし次は僕の番！



打ち込み稽古⑤さあ～こい！



大勢の元立ちの先生方毎日常に難うございます



ラスト1本！ファイト！



夕方の部！③ タイヤ打ち！



夕方の部！① 稽古開始 駆け足～！



夕方の部！② 正しく正面素振り



夕方の部！④ 先生の話聞くのも真剣に！



寒稽古納め！① 表彰代表6名



夕方の部！⑤
正しく面打ち



夕方の部！⑥胴打ち



夕方の部！⑦ 寒稽古頑張りました



寒稽古納め！②全員で一本締め！



寒稽古納め！③
先生方ありがとうございました！

OB稽古会・忘年会開催！



12月29日(火)にOB稽古会・忘年会を開催致しました。今年も強化選手の合宿最終日に実施し、OBが元立ちし子供達を鍛えてくれました。稽古会では真剣勝負、宴会では楽しく、OBの絆が一段と深まる事ができ、共に稽古し良い汗を流しました。今年七月一回の稽古会、多勢の参加を楽しみにしています。

～お知らせ～

道場床完成

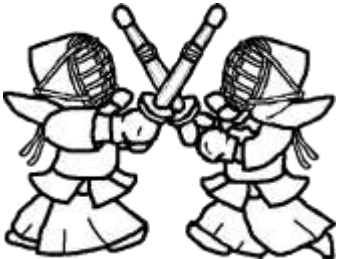


12月に工事しました床も無事に完成！
新しい床になり、気持ちも新たに今年も頑張りましょう！

☆入門おめでとうございます-----

土性 佳晴 (一般) 廣 建進 (小5)

君も剣士になろう！！



体験教室

対象 年中さん～
小学6年生
(保護者同伴)

日時 3/5 (土)
13:30～14:30

※皆さんの口コミで門下生拡大に
ご協力をお願いします 3/20 (日)
13:30～14:30

☆12月

◎第43回関東少年剣道錬成大会 (栃木)
中学生の部 第3位
大西・荒井・内村・鈴木秀・栗原・鈴木陽・新井

◎桜南剣友会創立25周年記念大会 (越谷)
小学生の部 準優勝
柳・池田・関根・高野・濟藤
中学女子の部 第3位
大泉・谷口・小嶋・若松

◎第40回館林市近県少年剣道大会 (越谷)
小学団体の部 第3位
柳・池田・関根・高野・濟藤
小学個人の部 敢闘賞 岡部快斗

☆2月

◎第64回全日本都道府県大会予選会 (上尾)
次鋒の部 (大学生)
優勝 泉 和毅 (大学3年)
祝 全日本都道府県大会出場

◎神奈川県全国選抜大会予選会 (神奈川)
優勝 桐蔭学園高校
伊藤勇太 (高校2年)
祝 全国高等学校選抜剣道大会出場

◎栃木県全国選抜大会予選会 (栃木)
優勝 佐野日大高校
新井康平 (高校2年)
祝 全国高等学校選抜剣道大会出場

編集後記

今年も宜しくおねがいします！
来月は、いよいよ館創立44周年の記念館内大会です。
卒業生の門出を皆でお祝いしましょう！

けん 剣の歳え 95

われいがいみなしなり
～ 我以外皆師也 ～

館長 田中 宏明

自己認識

◆澄み切った空気と穏やかな陽光のもと暖かい元旦と
なって今年も一年が始まった。恒例の三週間の寒稽古
も途中大雪に見舞われたりもしたが無事完遂し、はや
2月、立春を迎えた。「準備万端の所にチャンスは訪
れる」門下生諸君の益々の精進を期待するものである。
◆今、教育の現場で先生達がつい指導を敬遠した
くなる子供が増えているという。それはどんな子供達
か？・乱暴者の子ども？・学力の低い子ども？・授業
中に立ち歩いてしまうような落ち着かない子ども？い
やそうではないらしい。そういうような子どもでも次の
事に当てはまらなければ大丈夫だそうだ。それは、
人に迷惑をかけるような明らかに悪い事をして注意し
た時に、その注意を素直に聞けない子どもだと言っ
ている。具体的に言うと、注意されると直ぐに・言い訳
をする・ふてくされる・泣く・逆切れする。この四つ
の行為だ。注意される度に、これらの態度を繰り返す
うちに、やがて「注意されない子ども」になり、それ
がやがて「避けられる子ども」になっていく。これは
我々大人社会でも同じで、注意すると直ぐに言い訳ば
かりで、それを正すとふてくされ、やがて泣きごと
になり、最後は逆切れ。残念ながら子供よりも始末が悪い。
結局は、幼少年時代に親に正しく躰けられていない
ことが大きな原因である。必要以上に大切に過ぎる
所謂、過保護・過干渉。これは虐待に等しいくらい
子どもに悪影響を及ぼすといわれる。充分に甘えさせ
るのと甘やかすでは全く違うし、やってはいけないこ
と、守らなければいけないことは、厳しく叱っても教
え諭すのだ。悪いことをしたのに叱られない子どもは
不幸と言っていい。知らず知らずのうちに大切な子
どもを親が大切に過ぎて逆に駄目になっている現実
はなんと悲しいことだ。◆一方、「駄目な生徒などない
。駄目な指導者がいるだけです」昨年の5月に映画
化されて話題になった、学年ビリのギャルが1年で偏
差値を4.0上げて慶応大学に現役合格したというノン
フィクション作品の中で塾の講師が主人公を駄目人間
と決めつけている担任の先生に向かって投げかけた言
葉だ。観ていてその瞬間、何故か胸の鼓動が大きくな
った。「人の振り見て我が振り直せ」親も指導者も、
今一度謙虚に自身を省みたいものだ。それは親とし
ての躰け方や指導者としてのあり方ではなく、自分自
身がそうしていないか？そういう人間になっていない
か？ここをしっかりと認識して自らの行動を律してい
くことが何よりも大切だ。何故なら、子どもは言葉
を話さない段階から親の言うことの30%を学び、親の
することの70%をまねるといわれる。言って聞かせる
より、まず先にしてみせることが大切だ。子どもは
その後ろ姿を見て学ぶ。◆指導とは「燃えている蠟燭
(ろうそく)で他の蠟燭に点火するように正しい事を
心から心へと伝達するものである」と教わった。今年
も、こんな錬心館の指導でありたいと心から願う。